

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成28年2月29日 NO.95 (295)



オー君 「あ！きれいなお花<sup>はな</sup>ですね。なんという名前<sup>なまえ</sup>ですか。」

モンタ博士 「これは、フクジュソウというんだ。漢字<sup>かんじ</sup>で『福寿草』と書<sup>か</sup>くんだよ。『福』も『寿』<sup>ことぶき</sup>もどっちも、幸<sup>しあわ</sup>せなこと・おめでたいことなんだよ。」

花ちゃん 「どこに咲<sup>さ</sup>いていたのですか。」

モンタ博士 「モンタ博士のおうち<sup>ちか</sup>の近く<sup>さ</sup>に咲<sup>さ</sup>いているんだ。それから、この前<sup>まえ</sup>、神代植物<sup>じんたいしょくぶつ</sup>公園<sup>こうえん</sup>に行<sup>い</sup>ったら、たくさん咲<sup>さ</sup>いていたよ。」

オー君 「ふーん。そうなんだ。このお花<sup>はな</sup>は春<sup>はる</sup>をし<sup>し</sup>らせてくれる花<sup>はな</sup>なんですね。」

花ちゃん 「春<sup>はる</sup>の光<sup>ひかり</sup>をたくさんあびて、いっぱい<sup>えがお</sup>の笑顔<sup>み</sup>を見せてくれているみたいですね。」

オー君 「ねえねえ、花ちゃん。このお花<sup>はな</sup>はあれ<sup>に</sup>似<sup>に</sup>ているね。」

花ちゃん 「あれってなあに？」

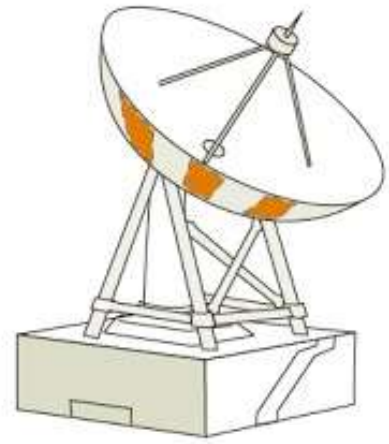
オー君 「大き<sup>おお</sup>くて丸<sup>まる</sup>くて空<sup>そら</sup>に向<sup>む</sup>かっていて・・・ふーむ。何<sup>なん</sup>ていったかな。」

モンタ博士 「ひょっとして、パラボラアンテナかな？」

オー君 「そうそう。それぞれ。そのパラボラアンテナ  
にそっくりだ。」

モンタ博士 「なるほど。おもしろいところに気がついた  
ね。さすがオー君だ。ところで、パラボラ  
アンテナは何を集めるか知ってるかな。」

オー君 「空からの電波を集めたりするんでしょ。」



パラボラアンテナ

モンタ博士 「そうだね。5年生が夏休みに行く『野外体験教室』の八ヶ岳の野辺山高原に  
は、直径が45mもある電波望遠鏡というのがあるんだよ。」

花ちゃん 「へえー。そんなに大きなものがあるんですか。おどろきですね。電波望遠鏡  
は、電波を集めるけど、フクジュソウも同じ形をしているから、何かを集め  
るたりするんですか。」

モンタ博士 「なるほど、おもしろい質問だね。よく気がついたね。さすが花ちゃんだ。み  
んなで考えてみよう。ここでヒントだよ。フクジュソウはね、晴れの日には  
お花を開いているけど、雨やくもりの日にはお花を閉じてしまうんだよ。」

オー君 「タンポポと同じですね。」

モンタ博士 「そのとおりさ。フクジュソウもタンポポも晴れの日にはお花を開いて、何か  
を集めているということだね。」

花ちゃん 「あ！わかった。晴れの日にあって、雨やくもりの日にないものは、『光』だ  
わ。きっと『光』を集めているのよ。」

オー君 「光を集めているということは、明るくなるということだね。」

花ちゃん 「明るくなるということは、あたたかくなるということですね。」

モンタ博士 「あたたかくなるということは、どういうことかな。」

オー君 「あ！わかった。あたたかくなれば、冬の間、寒さをがまんしていた虫たちも  
花に集まれるということだ。」

モンタ博士 「ピンポン。そのとおりだね。花と虫はなかよしだからね。これから、  
もう少し、フクジュソウのひみつを調べてみようか。」 つづく・・・。